

未来に響く Vol.9 エコ・ワード

ニュースで耳にする環境「ワード」。
明日への行動につなげてみよう。

問 環境政策課 / Tel674-7486

問題 「環境ラベル」とは？

- A 環境にやさしい商品やサービスであることを購入者に伝えるためのマーク
- B 地球環境が危機的な状態であることを知ってもらうためのマーク
- C 豊かな自然や美しい景観に恵まれた地域であることを保証するマーク

答え A 環境にやさしい商品やサービスであることを購入者に伝えるためのマーク

解説

食品や日用品を購入するとき、環境ラベルがついたものを選ぶことで、環境への負荷を減らすことができます。

表示が義務付けられているわけではないので、ラベルがないものは環境によくない、ということではありません。また、環境ラベルにはさまざまな種類があり、より環境に配慮した商品を選びたい場合は、ラベルにある情報を確認するようにしましょう。

購入時はエコマークを確認

環境ラベルの中で、代表的なものがエコマークです。エコマークは商品やサービスの「生産」から「廃棄」までの各段階で、環境への影響を総合的に判断し環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられています。モノを購入する際は、まずはこのラベルがついているかを確認しましょう。



環境にやさしい選択を

グリーン購入法では、国や地方公共団体だけでなく、国民もできる限り環境への負担が少ない物品を選択することを求めています。

環境に配慮した商品がさまざまな分野で広く供給されるようになった今、価格や品質、デザインだけではなく、長く使える物やリサイクルのしやすい物を選ぶなど、環境を意識した選択を心がけましょう。



円筒埴輪を見る

埴輪は、1700～1400年前の豪族の墓である古墳に立て並べられた素焼きの焼き物です。これは墓へ供えられた壺とその壺を乗せるための台（器台）がモデルになっています。

埴輪には、筒形で古墳を囲むように大量に並べられた円筒埴輪と、人や動物、家など実際にあるものをモデルにした形象埴輪があります。円筒埴輪は、埋葬施設や古墳の周りを囲むことによって、死者の世界と生きている人の世界を分け、古墳という死んだ人のための空間を守る役割があったと考えられています。形象埴輪は、円筒埴輪と同じく死者の空間を守る

ほか、儀式の様子を再現する役割がありました。

種類や形が豊富な形象埴輪と比べると、円筒埴輪は同じ形ばかりですが、観察してみると意外と違いがあることに気付きます。

円筒埴輪の大きさを見ると、高さが40cm程度のものから、1mを超えるものまでいろいろあります。また、筒部分は突帯と呼ばれる帯で区画されており、一番下の底部から最上段の口縁部までの段数は大きさによって変わります。大きいものでは、今城塚古墳から高さ約1.3m、11段の円筒埴輪が見つかりました。このように大きく段数の多い円筒埴輪は、まさに

大王墓にふさわしいものです。

円筒埴輪は大量に作る事が求められたため、段の間隔がそろっていない、突帯が曲がっているなど、製作者の性分がうかがえるものがあります。一度、当時の埴輪を作る人々の姿を思い浮かべながら、埴輪を見てみてはいかがでしようか。

(今城塚古代歴史館)



円筒埴輪と朝顔形埴輪(今城塚古墳)

たかつき歴史アラカルト 100